

186年

中平三年（漢）

皇帝

劉宏（漢靈帝）

皇后

何氏（諱某・南陽宛県）

皇太子

（空位）

三公

太尉：張延(前太僕・185~186) 張温(前車騎將軍・186~187)

司徒：崔烈(前太僕・185~187)

司空：許相(前光祿大夫・185~187)

その他の要職

太僕：

大司農：

大將軍：何進（前河南尹）

車騎將軍：張温（元司空） 趙忠（中常侍・186） ？

地方官

荊州刺史：王敏

主な事件

- ▶ 春二月 江夏の兵で趙慈が反乱し、南陽太守秦頡を殺す《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 庚戌、天下に大赦する《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 太尉の張延が罷め、車騎將軍の張温を太尉とする。中常侍の趙忠を車騎將軍とする《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 玉堂殿を修復し、銅人4体、黄鍾4個、及び天祿・蝦蟆を鑄造する。また四出文錢を鑄る。注に引く、天祿は獸。時に掖廷令の畢嵐は銅人を鑄て倉龍・玄武闕の外に並べ、鍾は玉堂及び雲臺殿前に懸けられた。天祿・蝦蟆は平門外で水を吐いた《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 五月壬辰晦、日食があった《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 六月、荊州刺史王敏が趙慈を討ち、之を斬る《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 車騎將軍の趙忠が罷める《後漢書孝靈帝紀》

秋八月、懷陵（沖帝の陵墓）上を万を数える雀が有り、殺し合う《後漢書孝靈帝紀》

- ▶ 冬十月、武陵蛮が叛き、境を寇略する。郡兵が之を討ち破る《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 前の太尉張延が宦官の誹りを受け、獄に下され死ぬ《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 十二月、鮮卑が幽州、并*州を寇略する《後漢書孝靈帝紀》

誕生者

死没者

- ▶ 張延（前太尉・獄死）

[PAGE TOP](#)

[185年 <<](#) [>> 187年](#)